

## 令和5年度 第2回地域振興会議会長会議事概要

日 時：令和6年2月8日（木） 14時30分～16時00分  
場 所：市役所本庁舎7階 第2委員会室

〔各地域振興会議〕 16名

会 長：山田会長(国府)、上山会長(福部)、竹田会長(河原)、西川会長(用瀬)  
小谷会長(佐治)、河根会長(気高)、小川会長(鹿野)、長谷川会長(青谷)  
総合支所：山川国府支所長、平戸福部支所長、九鬼河原支所長、太田用瀬支所長  
下田佐治支所長、中原気高支所長、岡本鹿野支所長、田中青谷支所長

〔本庁関係〕 2名

深澤市長、竹間市民生活部長

〔事務局〕 3名

市民生活部地域振興課：山名課長、有田課長補佐、松浦会計年度任用職員

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 地域振興会議で検討された主な事項等について（発表及び意見交換）
- 4 地域振興会議に代わる新たな会議体の方針案について（地域振興課）
- 5 その他
- 6 閉 会

# 議 事 概 要

## 1 開会

## 2 市長あいさつ

## 3 地域振興会議で検討された主な事項等について

### <国府地域振興会議 山田会長>

#### ○「史跡・文化財・観光をテーマとしたまちづくり」に係るプランの策定について

地域振興会議が令和6年度で区切りがつく為、令和5年度から2年に渡って「史跡・文化財・観光をテーマとしたまちづくり」に係るプランを作成し、令和6年度の中に完成予定。市の関係先に提案・意見をまとめたプランを提出したい。今年度は資料の収集、SWOT分析を利用して取り組んできた。地域や住民からの課題にも対応しながら、令和6年度の夏頃までに「国府歴史観光まちづくりプラン（仮称）」を完成予定。完成次第、またお願いに上がりたい。

### <福部地域振興会議 上山会長>

#### ○福部町のまちづくり構想基本計画の見直しについて

平成31年に策定された、「福部町のまちづくり構想基本計画」が今年5年目となり、見直しをしている。元々は、新しいインターチェンジが設置されることを前提で作った基本計画だったが、インターチェンジ設置を強く要望してもなかなか思うようには進まない現状があり、要望の方は継続し、町の整備、活性化を念頭に見直す。

#### ○地域食堂について

福部町内に地域食堂がまだ無い為、設置を検討しており、中央人権福祉センターの方に、地域振興会議に来ていただき説明を受けた。その後、2月3日には福部町民を対象にした説明会を開き、地域食堂の方から立ち上げのところからの話も伺った。どれだけのニーズがあるか、設置場所をどうするか、どういう形態で皆さんに集まっていたかなど、様々な課題あるが設置に向けて務めていきたい。

#### ○福部駅周辺の活性化について

福部駅の活性化を目的に、福部駅周辺を美観整備している団体があり、去年は、福部出身のイラストレーター伊吹春香さんに依頼して、駅舎の壁にイラストを描いていただいた。団体の代表の方が、昨年イベントを前に亡くなられ、急遽イベントが中止になった。その方の思いを引き継いで、団体が活動を続けていきたいと聞いているので、地域振興会議としてもバックアップをしていきたい。

#### ○コミュニティセンターについて

改修していただいたコミュニティセンターの利便性が悪く、研修室が複数の団体が使うのが難しい状況。併設されている図書室も、本を選んで持って帰るだけで、座って読むスペースが無い。元々ある建物を活用するという事だったので、仕方ない事かもしれないが、もう少し町民の利用の事を考えて欲しかった。

### <河原地域振興会議 竹田会長>

#### ○災害復旧における受益者負担軽減について

昨年8月の台風7号により、佐治地域で大変大きな被害が出たが、河原町でも北村地区がかなりの被害が出た。現地の状況や復興の状況を、地域振興会議でも話を伺い、災害復旧の受益者負担率を現行の負担率から1%に見直ししていただき、地元の方も大変喜んでおられた。農家も高齢化で営農する人が少なくなっているため、今回の負担軽減は本当に助かった。

#### ○河原地区の5つのまちづくり協議会の連携強化について

河原町内は5つの地区があるが、少子高齢化や役員の担い手不足により苦慮している。新しくUターンで若い人が帰ってきて、自治会に入らない人が増えている。地域行事やイベントも減り、隣近所に関心が無くなってきており、会に出ていけば何かの役員をさせられる。自治会費を払っても、どれだけ自分との繋がりがいいのか分からない、等の理由で入らなくなっている。地域の課題として解消していきたい。

## ○河原地域の20年後を見据えた校区再編について

河原町には3つの小学校1つの中学校がある。各学校、とりわけ西郷小学校・散岐小学校では少子化が進み、複式学級が増えてきている。3～4年前から市の方からも学校統合について説明に来ているが、保護者からは早く統合の話を進めて欲しいという意見や、合併を反対される意見もあり、話がなかなか前に進まない。学校の運営や児童の最適な教育環境に不安が生じている現状であり、市の判断で統合を決めた方がいいのではないかと考える。

## <用瀬地域振興会議 西川会長>

### ○トスク用瀬店の閉店に伴う課題について

昨年9月4日に市に対して「トスク用瀬店閉店に伴う地域住民の買い物環境維持」について、意見書を提出した。その後、地域住民からトスク用瀬店閉店後の対応について心配される声もあり、「トスク用瀬店閉店への対応や買い物環境確保について」と題した、用瀬地域振興会議だよりを発行した。トスク用瀬店が位置する場所は流し雛会場の近くで、用瀬町のにぎわいづくりの中心地になる。店舗が閉店したままでは非常に寂れた印象を受け、何とか復活させたい。昨年12月に、JA鳥取いなばに現在の状況の報告を依頼したところ、用瀬店と八頭町の丹比店は引受先の交渉中との事。

現在の対応として、共助交通「いきいき社バス」を河原町のエスマート鳥取南IC店までの延伸運行と、移動販売の業者さんの案内を住民にお知らせをしている。

### ○視察研修について（岡山県高梁市）

岡山県高梁市に、空き家対策と伝統芸能の保存・伝承状況について視察調査を実施した。用瀬町においても、空き家が増加する一方で活用が進んでいない状況がある。空き家の対応について、個人の所有物であり行政が踏み込むのが難しく、斡旋等はできない。高梁市では地域おこし協力隊の方が斡旋等しておられる。助成金については、鳥取市とほぼ同額の助成がされている様だった。

文化財の保存に向けた取り組みについて、高梁市では備中神楽というのが重要無形文化財で指定されている。用瀬町でも、社の江波地区で継承されている三番叟が県指定無形民俗文化財として指定されているが、継承する子供がおらず伝承が危惧されている状況。

## <佐治地域振興会議 小谷会長>

### ○災害に強い地域づくりについて

昨年8月の台風7号の大雨により、大きな災害が発生した。現在、早期な復旧・復興へ向けて工事が進んできており、行政や業者の方にも尽力いただき、大変有難く思っている。

災害に関連して、令和5年度に住民主体で、災害に強い地域づくりを考える取り組みを現在始めた。中学生以上の住民を対象にアンケート調査を実施しており、2月下旬には平成30年に豪雨災害があった岡山県高梁市に視察も検討している。3月には、災害に強い地域づくりを皆で考える集いの開催を予定している。

### ○商店とガソリンスタンドの地域運営について

令和4年10月に町内唯一のスーパーである「トスク佐治店」が閉店し、更に昨年9月末に用瀬町にある「トスク用瀬店」が閉店。最寄りのスーパーは河原町の「エスマート」となった。同じく町内唯一のガソリンスタンドの「JA燃料センター佐治SS」が昨年1月末に閉店。これらの状況を踏まえ、地域振興会議では昨年度と本年度に、地域で商店とガソリンスタンドを運営しておられる、先進事例の視察調査をした。両地区とも、住民出資による会社を立ち上げ、同じ敷地内で商店とガソリンスタンドを運営されている。運営体制の効率化で人件費の節減を図っているが、経営状況は厳しく、市や町有施設の指定管理の受託など、複合的な収入確保によって経営に取り組んでおられる。

現在、佐治地域では佐治支所で店舗出店の可能性について研究を進めているところだが、持続運営していく為には、農産物等の直売所、コミュニティスペースの併設、観光施設との連携等、店舗単体だけでは無く「地域住民や観光客の皆さんに必ず利用して貰える仕組みづくり」が重要。このあたりの工夫が高いハードルになっており、検討に苦慮している状況。

## <気高地域振興会議 河根会長>

### ○気高地域のまちづくりを見据えた統合新設小学校の検討について

数年前から学校統合に向けて話し合いを進めてきた。最終的に、教育委員会・市の方で、気高町内

4校の小学校を、1つの学校として新設統合することを決定した。場所は3カ所の候補地があったが、JR浜村駅南側を候補地として、測量・地質調査を実施中。子供たちが幸せになっけるような、良い学校ができるように期待している。

今後、教育委員会の方で統合準備委員会が設置され、地域住民と共に新しい小学校に向けて議論されていく。地域振興会議としても、学校候補地の決定を受けて、まちづくりの推進に繋げていける様に議論していきたい。

### ○気高地域振興会議独自の議題・テーマに基づく意見交換について

鳥取市の中で新市域振興ビジョンがあるが、気高町では5つの目標を掲げている。①交流のまちづくり、②新しい風のまちづくり、③地域産業のまちづくり、④教育文化のまちづくり、⑤安心安全のまちづくり、これについて委員の中で意見交換を行い、課題解決に向けて議論を進めてきた。来年度以降も、地域住民に積極的にアプローチしながら、様々な団体と連携を図りながら、どの様に地域振興を図っていくか、議論を進めていきたい。

## ＜鹿野地域振興会議 小川会長＞

### ○旧鹿野小学校跡地の利活用及び整備について

鳥の劇場がある旧鹿野小学校が、かなり老朽化しており、再整備について早急に検討する必要がある。鹿野地域振興会議としては、令和4年4月に意見書を市に対して提出した。その結果、令和5年度から3か年の事業として、国・県の補助を受けて、鳥の劇場を中心とした、地域の交流の場となるような拠点を再整備していく事になった。

今年度は再整備のための校舎の一部撤去と、教育、農業、観光などの分野を組み合わせたソフト事業を、地域も協力しながら展開を続けていく。地域振興会議としては、これらの事業計画や整備がより良いものになるよう、協議検討していく。

### ○鹿野図書室・学校図書解放のあり方について

鹿野地域では、鹿野町農業者トレーニングセンター内に「鹿野図書室」を設けるとともに、鹿野学園流沙川学舎（小学校）図書室を一般に開放している。鹿野図書室は開館時間の延長など利便性充実の要望がある。学校図書の解放は利用者が減少しており、学童後の保護者を待つ児童の居場所になっている。オープンになっているので不審者の対応等の問題もあり、学校図書の解放事業廃止に伴う、児童の居場所づくりの検討の必要がある。現在、関係者との協議や利用者に対するアンケートを実施しており、結果を見ながら方向性を検討していきたい。

## ＜青谷地域振興会議 長谷川会長＞

### ○青谷上寺地遺跡公園整備に伴う魅力ある地域づくり・にぎわい創出の推進について

令和2年度から整備が行われてきた、青谷上寺地史跡公園が令和6年3月24日に展示ガイダンス施設がオープンする。青谷町では史跡公園オープンに合わせて、地域を盛り上げようという様々な動きが加速しつつある。「青谷羽合道路」北側エリア一帯も、令和11年にグランドオープンする予定となっている。

青谷地域振興会議では、「青谷町版総合戦略【第2期】」の推進、青谷上寺地遺跡利活用推進事業部の活動、レンタルサイクルを活用した青谷町周遊プロジェクト、魅力ある民泊推進事業、夏泊の魅力全国にPRするプロジェクトの活動や支援を行っていく。令和6年度も引き続き、これらの事業を地域活性化のチャンスと捉え、交流人口の増加、にぎわいの創出を推進して参りたい。

### ○青谷地域での路線バス廃止後の対応について

昨年8月23日に開催された「鳥取市生活交通協議会」において、日の丸自動車が青谷町内のバス路線を今年度で廃止する事を発表した。バス路線廃止後の対応について、「鳥取市青谷町地域生活交通協議会」で協議・検討されてきており、昨年8月30日に開催された青谷地域振興会議において、これまでの経過や対応方針が説明された。青谷地域振興会議では、今後も協議会と情報共有・連携等を図ってきた。4月1日以降の地域住民の生活交通に支障がないように、マイクロバスを運行する。諸般の事情によって、マイクロバスが今年度中に納入できないという情報があり、現在、対応方法について交通政策課の方で検討中。

## ＜市長による意見・感想＞

地域審議会が10年間あり、地域振興会議が10年を迎えようとしており、合併から20年になり新しい時代を迎えようとしている。地域振興会議を継承していく会議体が必要だと、地域振興会議の委員の皆様のご意見がありますので、鳥取市としてもどのような会議体が良いのか、来年度中にはお

示しさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

### ○国府地域での取組について

「史跡・文化財・観光をテーマとしたまちづくり」についての意見書という形で、提出をしたいという事でお話いただきましたので、完成をまた楽しみにしております。国府地区におかれまして、殿ダムが完成して10数年経過しております。因幡万葉湖や色々な観光資源としても新しいものもあり、先般の万葉大茶会も大変盛会に開催する事ができ、全国に大伴家持の万葉の里という事で、発信できたのではないかと思います。コロナの終息後には、多くの皆さんに訪れていただける様な取り組みをしていけたらと思っておりますので、また色々とお話いただければと思います。

### ○福部地域での取組について

コミュニティセンターが狭隘で使い勝手が悪いとの事で、現状を確認させていただけたらと思います。福部駅の活性化についても、伊吹春香さんの多くの皆さんに注目されているという事で、引き続きまた福部町の活性化に向けて取り組んでいただきたいと思います。

地域食堂について、多くの皆さんが気軽に立ち寄っていただける1つの拠点として、麒麟のまち圏域全体で、この取り組みを広げていきたいと思っております。福部町におかれまして、ネットワーク加入していただき、一緒になって取り組んでいただけると有難い。

インターチェンジ設置の方も、都市計画決定がなかなか県の方で進めてもらえない状況が続いています。また少し動き出す様な話を県から聞きましたので、その際には実現できるか分かりませんが、地域の皆さんからのご要望があるという事は、改めてお伝えしたいと思っております。

### ○河原地域での取組について

高齢化が進み、地域の行事や自治会の加入が減少しているという事で、これは鳥取市全体や、全国でそのような地域コミュニティの維持が、難しくなっているという実態があります。鳥取市全体の課題として引き続き、皆さんと一緒に議論しながら、支え合いや繋がりが維持できるような、地域社会の構築に向けて取り組んでいきたいと思います。

災害復旧の受益者負担1%になり、大変良かったと言っていたら、私も負担率の見直しをして良かったなと思えました。災害を機に農業を辞めようかという方も、もう一度やってみようというお気持ちになられたという話も伺いました。今回だけでなく、災害復旧の時はできる限り地元負担を少なくしていける様に続けて参りたいと思っております。

校区再編について、両方の意見があり結論を出すのが難しいと、全くその通りだと思います。議会や市でも判断してはどうか、といったお話もいただきましたが、地元の皆さんのご意向を尊重させていただきたいと思っておりますし、将来を担っていく子ども達の教育の為にはどのような選択が良いのか、議論していかなければならないと思っております。

### ○用瀬地域での取組について

トスク用瀬店の閉店について、経過は注視しておりますが、JAさんの方も事業者と交渉中という事で、鳥取市としても店舗の承継にあたっての支援をさせていただける様な場面があれば、できる限りのことはさせていただきたいと思っております。

高梁市の視察をされたという事で、伝統芸能と行事を保存に関して三番叟の例もありました。子ども達がいなくなって、承継も難しくなったという様な話でしたが、素晴らしい地域の伝統芸能だと思っておりますので、例えば出身の方が承継されるとかいろんな形で、是非とも子ども達に引き継いでいただける様に期待しております。

### ○佐治地域での取組について

佐治町におかれましては、昨年台風により大雨が降りまして、ライフライン道路や上下水道が寸断されて大変な状況でありました。そのような中で、日頃より地域での繋がり、支え合いが維持されている地域で、皆さん混乱される事無く大災害に立ち向かっていただいたと思っております、改めて感謝申し上げたいと思っております。佐治ふるさとまつりでは、会長さんをご挨拶の際に開催するかどうか悩んだが、こういう災害があった時こそ、やるべきだというようなお話もいただき、地域の皆さんの思いが復興復旧に向けて大変大きな力になっていると、改めて思っているところであります。

そういった中で、トスク佐治店、ガソリンスタンドも閉店になったという事で利便性について厳

しい状況であります、コンビニも検討されているという事でご説明にあった通りだと思えます。農産物の販売や、町外から来られる方に買い物をしていただける様な仕組みを作ることによって存続できるようにしていく事によって、設置に繋がっていくかと思えますので、また鳥取市もそういった方向で一緒になって検討していけたらと思っております。

### ○気高地域での取組について

小学校の統合について、新しい学校を作るという事で、子ども達が学校に行きたい気持ちを感じられる様な方向で進めていくことができたらいいなと思っております。色々な議論を経てのこの方向だと思っておりますので、しっかりと進めていただきたい。

地域振興ビジョンについて、5つの目標に対して意見交換していただいたという事で、地域振興ビジョンと併せて合併から20年目を迎えるようとしております。次の時代を見据えて地域振興についてまたご議論いただければ有難いと思っております。

### ○鹿野地域での取組について

鳥の劇場について、鳥取市もできる限りの支援をさせていただきたいと思っておりますし、素晴らしい取り組みをずっと続けていらっしゃると認識しております。旧校舎・幼稚園舎等々につきましても、これからも活用していただけるような、取り組みを続けていく必要があると思っております。

図書室については利用者アンケートを集約され、またアンケートを踏まえてあり方や移転の可能性も、というお話をいただきました。図書室を利用していただき易い様な形というのが必要であると思っておりますので、利用者の皆さんのお考えなど分かれば教えていただけたらと思っております。

### ○青谷地域での取組について

青谷上寺地遺跡について、来月ガイダンス施設がオープンしますので、これを機に多くの皆さんが青谷町にお越しいただける。地下の弥生博物館と言われており、全国からも非常に注目されます。国内外に誇るような施設として、多くの皆さんにお越しいただける様に、鳥取市も県と一緒に取り組んで参りたいと思っております。その事が、交流人口の増加やにぎわいの創出に繋がっていくと思っておりますので、よろしくお願ひしたい。

路線バスの廃止後の対応について、マイクロバスの納入が遅れているという事で、実は部材、部品等がなかなか調達できないというのがあるようです。やがて確保できると思っておりますので、もう少し待っていただければと思っております。生活交通・公共交通をいかに維持確保していくかということが大きな課題になりますので、そのあり方についても、地域の皆さんと一緒に、議論していきたいと思っております。

### <意見交換>

時間の都合により、割愛させていただきます。他地域の取り組みで詳しい事が聞かれない事があれば、事務局を通してご質問いただければ、取り次ぎさせていただきますので、よろしくお願ひ致します。(事務局)

## 4 地域振興会議に代わる新たな会議体の方針案について（地域振興課）

今年度、第1回地域振興会議会長会で素案をお示しし、それを各地域振興会議に持ち帰っていただき、ご議論いただきました。それを受けまして、もう少し細かい内容を方針案として、本日お示しさせていただきます。これを元にして、来年度の地域振興会議でご議論いただく流れになります。

### <事務局より資料に沿って説明>

地域振興会議に代わる新たな会議体の方針案について、1月31日に開催された支所長会議で方針案の取りまとめを行いました。

これを元に、今後のスケジュールにあります様に、各地域振興会議で意見交換していただいて、来年12月中を目標に決定していけたらと思っております。

### <地域振興会議に代わる新たな会議体の方針案について質問・意見>

・方針案について、基本的には良いと思う。4. 所掌事務の中の(3)課題解決に向けて、市に対して政策提案を行うことができる、と書いてあるが、課題の大きさは制約があるのか？(長谷川会長)

→課題の大きさというよりは、市として地域から上がってきた提案を実行する事によって、本市の一体的な発展、また対象地域の発展にどれぐらい寄与するのか。そういった観点も重要になってくるかと思えます。課題の大きさを線引きをする事は今のところ考えていませんが、ご意見としていただければ、検討していきたいと思えます。(山名課長)

・地域住民が暮らす上での、安全性を先取りして検討していく事も重要だと思っておりますので、よろしく願います。(長谷川会長)

・8. 設置期間を明記しない。と記載があるが、何か根拠があってこういう書き方をしているのか？(竹田会長)

→設置期間については、他市の総合支所があるエリアに、設置している会議体の要綱をみると、設置期間を明記していません。ただ、新たに設置した後に、一定の期間ごとにこれまでの取り組みの内容等を見ながら、より良い形に見直ししていく事も必要かと思うので、4年のスパンというのは、そういった意味合いです。この点についても、また域振興会議でご議論いただければと思えます。

(山名課長)

・3. 設置の目的のところ、「本市の一体的発展」という表記があるが、「旧市と新市との一体的に」という意味合いで読み取れたが、どういう意図でこの文言を入れられたのか？(山田会長)

→今の地域振興会議の条例の中にも、「本市の一体的な発展に資する新市域の振興を目的に設置する」と表現しており、残すべきか支所長会議で議論しました。例えばこの文言を取ってしまうと、それぞれの地域にある、まちづくり協議会等の地域団体の活動と、どういった区別があるのか？というのが一つあります。国府町の場合は町内にいくつかまちづくり協議会があるので、まちづくり協議会と新たな会議体との差異は作りやすいが、福部町や佐治町の場合は、まちづくり協議会が町内で1つ、新たな会議体も1つなので、違いを作っていく必要があると考えました。

新たな会議体で議論をしていくべき事は、その地域の活性化の事や、課題の事も当然議論していただく事になりますが、そういった事を議論していただき、課題解決に向かう事によって、他の地域にも参考になり広まっていくこともできるかもしれませんし、「全市的な視点で、その地域の活性化を行う事が、市の発展にも寄与する」という意味合いで、この表現を入れています。(山名課長)

・先程の「本市の一体的発展」は大事な話だと思います。例えば観光一つにとっても、鳥取市本体として鳥取砂丘や城下町の整備など、その辺の施策だけをきちんとして、周辺はどうでもいいのかというと、そうではない。各地域の色々な観光振興は必要だと思う、そういった意味からも一体的というのは非常に重要な事であって、鳥取市の中心市街地だけ繁栄すればいい、砂丘だけに観光客がたくさん来たらそれで良いという話ではない。鳥取市本体の政策としても一体的な発展というのを、考えていただきたいと思っております。(河根会長)

## 5 その他

特になし。

## 6 閉会